

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成31年01月16日

計画の名称	神戸市公共下水道事業～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	神戸市												
計画の目標	安全・安心・快適な市民生活と健全な都市活動を支え、震災など非常時にも良好な水環境を保持するための防災・安全対策を実施し、魅力ある神戸のまちの創造に貢献する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	40,730	A	40,650	B	50	C	30	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.07	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値	最終目標値 (H31末)
1	管渠の改築更新を、平成31年度末までに50 km実施する 管渠の改築更新実施率 改築更新実施延長 / 対象延長（50km）	0%	%	100%
2	雨水整備重点地区（全9地区）の対策完了地区を2地区から5地区に増加させる 対策済雨水整備重点地区 2地区 5地区	2地区	地区	5地区
3	地震対策実施（非常時においても揚排水、沈殿、消毒機能を1系列でも確保する）処理場を、平成31年度までに1処理場から2処理場に増加させる 地震対策実施率 対策済処理場 / 対象処理場	1処理場	処理場	2処理場

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
・（神戸市強靱化計画）に基づき実施される要素事業：A1～A6全て												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、16排水区))管きょ施設(改築更新)	中央処理区 200-500mm L =9.2km 他 更生工法	神戸市						1,350		策定済
	A07-002	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、合流区域))管きょ施設(改築更新)	中央処理区 200~500mm 他 更生工法	神戸市						100		策定済
	A07-003	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、16排水区))管きょ施設(地震対策)	中央処理区 250-400mm L= 3.7km 他 更生工法	神戸市						2,050		策定済
	A07-004	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、合流区域))管きょ施設(地震対策)	中央処理区 250~400mm 他 更生工法	神戸市						900		策定済
	A07-005	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠(雨水)	-		市内(16排水区)管きょ 施設(浸水対策)	中部排水区 2200×2200mm L=0.4km 他	神戸市						3,050	
浸水対策																			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-006	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠(合流)	改築	市内(合流区域)管きよ 施設(浸水対策)	東灘排水区(合流区域)	神戸市						100		-
	A07-007	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、16排水区) 処理場・ポンプ場施設 (改築更新)	西部処理場 改築更新事業 他	神戸市						15,350		策定済
	A07-008	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、合流区域) 処理場・ポンプ場施設 (改築更新)	改築更新事業	神戸市						10,400		策定済
	A07-009	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	市内(8処理区、16排水区) 処理場・ポンプ場施設 (地震対策)	耐震診断、補強工事の実施 他	神戸市						250		策定済
	A07-010	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	-	改築	市内(8処理区、合流区域) 処理場・ポンプ場施設 (地震対策)	地震時機能停止リスク低減対 策、耐震診断、補強工事の実 施 他	神戸市						5,300		策定済

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-011	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	ポンプ場	改築	市内(16排水区)ポンプ場施設(浸水対策)	魚崎ポンプ場の整備 他	神戸市						1,800	-	
浸水対策																			
											小計						40,650		
											合計						40,650		

C 効果促進事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H27	H28	H29	H30	H31			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	C07-001	下水道	一般	神戸市	直接	神戸市	管渠（ 汚水）	-	排水設備改善助成	排水設備の老朽化対策として 、改善工事を助成	神戸市						30	-	
		本計画の目標実現をするため、上記基幹事業と一体となって排水設備の改善を行うことで、分流式システムの改良が図れ下水道施設の機能向上ができる。																	
											小計						30		
											合計						30		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	H31
配分額 (a)	4,072	3,704	4,186	3,594	3,722
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	0
交付額 (c=a+b)	4,072	3,704	4,186	3,594	3,722
前年度からの繰越額 (d)	2,520	2,983	2,479	1,813	1,685
支払済額 (e)	3,609	4,208	4,852	3,722	3,260
翌年度繰越額 (f)	2,983	2,479	1,813	1,685	2,147
うち未契約繰越額(g)	789	8	206	143	157
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	11.96	0.11	3.09	2.64	2.9
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	計画・設計に関する諸条件の変更				

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸市公共下水道事業～安全・安心のまちづくり～（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 基本方針、上位計画と整合している。 1. 大阪湾流域別下水道整備総合計画 2. 播磨灘流域別下水道整備総合計画 3. 神戸市総合計画 4. 神戸市下水道長期基本構想 5. 神戸市下水道事業中期経営計画	○
I. 目標の妥当性 目標の内容 1) 快適な市民生活・健全な都市活動に寄与する計画である。	○
I. 目標の妥当性 目標の内容 2) 水環境の保全を図る計画である。	○
I. 目標の妥当性 目標の内容 3) 循環型社会の形成・地球環境の保全を図る計画である。	○
I. 目標の妥当性 目標の内容 4) 地域に資する（地域住民等の協力により創り上げる）計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 効果促進事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 関係機関等の理解が得られている。	○